

# 岐阜県「第4波」非常事態宣言 ～変異株の脅威から命を守る～

全国的に新型コロナウイルス「第4波」が、これまでの波をはるかに上回るスピードで急拡大しています。その最大の要因が「変異株」です。変異株は、感染力が極めて高く、重症化する可能性も高いことが指摘されています。

今後、感染が急拡大するか、踏みとどまるか、今はその瀬戸際です。これまで実施してきた感染対策は、変異株にも有効といわれています。これまでと同様に、基本的な感染対策を徹底して継続しましょう。

## 若者に広がる脅威

現在、若者に感染が広がっています。若者は、死亡率は低いものの「倦怠感や脱力」「睡眠障害」「味覚障害」「脱毛」といった、後遺症に苦しむ例が国内外で多数報告されています。

「若いから大丈夫」という考えではなく、自身の大事な家族を守り、何より自らが健康で楽しい人生を送るためにも、新型コロナウイルスに感染しないよう、感染リスクを認識した「新しい行動様式」が求められます。

※新しい行動様式は、裏面参照

## 高齢者への脅威

第1波から第3波までの教訓からは、若い世代で感染が広がり、それが家庭内や福祉施設などで感染拡大につながりました。

その結果、高齢者の感染割合が確実に上昇しています。

現時点では、変異株陽性率の上昇に伴い、感染者が増加しているものの、感染者の5割程度が30代以下の方々です。

これが高齢者にシフトすると、急激な病床のひっ迫を招き、深刻な状況を迎えることとなります。

## 医療現場からのお願い 大型連休は慎重な行動を

長い自粛生活の中で、少し緩みが出てきているように感じます。市内でも、新型コロナウイルスに感染する可能性があることを、もう一度よく考え直してください。

連休中に、新型コロナウイルスへの感染を減少させようという「強い思い」を皆さんが持つこと、そして、実践することがとても重要です。発熱などの症状により医療機関を受診する場合は、必ず事前に電話で予約してから来院してください。

国民健康保険上矢作病院  
院長 西脇巨記

